



連合愛知安全衛生センターだより

愛知県勤労者安全衛生センター 〒456-0002 名古屋市長田区金山町1丁目4-18 ワークライフプラザれある 3F
TEL(052) 684-0003 FAX(052) 684-0303 連合愛知ホームページからも閲覧できます <http://www.rengo-aichi.or.jp>

2021年度活動計画について確認 ～安全衛生センター第1回理事会を開催～

1月28日、連合愛知安全衛生センター「第1回理事会」をweb併用にて開催しました。

冒頭、近藤理事長より「昨年度は、それぞれの職場の状況にあわせた安全衛生の取り組みを進めてこられたかと考えます。本年も働く仲間の安全確保と健康維持の為に、引き続き取り組みをお願いしたい。

安全衛生センターとしても、後ほど確認いただく今年度の年間活動計画に基づき、労働災害の未然防止、健康作りを始めとする活動について、しっかりと行なっていきたい」との挨拶がありました。



理事会の主な議事は次のとおりです。

○議 事

- ① 2021年度 年間活動計画について
- ② 「第1回安全衛生担当者研修会」の開催について
- ③ 安全衛生センターHP（ホームページ）の改訂について

○確認事項

- ① 理事の変更について
- ② 「連合愛知労災保険組合 第30回総会」の開催
- ③ 「第2回理事会」の開催
- ④ 安全衛生センターだよりの「執筆」要請について
- ⑤ 安全衛生センターの発文・役員宛の通知・案内方法について

○報告事項

- ① 第32回総会
- ② 労働保険事務組合関係
- ③ 関連団体関係
- ④ 労災保険審査参与会
- ⑤ 心の相談室

※議事・確認事項について、すべて承認されました。

2021年度安全衛生センター年間活動計画

	安全衛生センター	行政・関係団体等
1月	28日 第1回理事会	12月15日～1月15日 年末年始無災害運動*
2月	15日 労災保険特別加入者の確認	
3月	労災保険特別加入者変更 手続き	自殺対策強化月間
4月	9日 労働保険年度更新研修会 13日 第2回理事会、労災保険組合 第30回総会	28日 安全衛生世界デー
5月	25日 第1回安全衛生担当者研修会 第1回安全衛生専門家会議	31日～6月6日 禁煙週間
6月	6月～7月 2021労災防止キャンペーン 第3回理事会 ※視察（日帰り）	全国安全週間準備月間
7月	連合全国セイフティネット ワーク集会 年度更新申告書提出	1日～7日 全国安全週間 熱中症予防強化月間 愛知産業安全衛生大会
8月		食品衛生月間
9月	30日 第4回理事会 第2回安全衛生担当者研修会	全国労働衛生週間 準備月間 10日～16日 自殺予防週間
10月		1日～7日 全国労働衛生週間 27日～29日 全国産業安全衛生大会（東京） 健康づくり指導者セミナー
11月	19日 安全衛生センター第33回総会 第2回安全衛生専門家会議	・過労死等防止啓発月間
12月		1日 世界エイズデー 職場のハラスメント撲滅月間

2021年2月度 愛知県の死亡災害発生状況 <2月10日現在速報値>

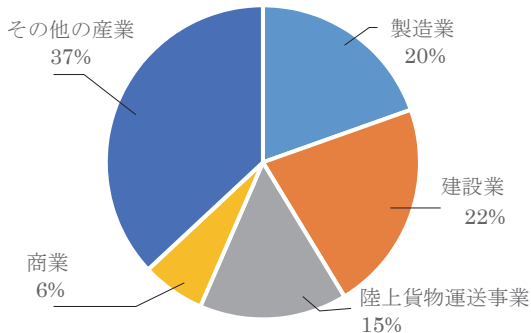
2人（0人） 対前年同期4人（1人） ※（ ）内は交通事故による死亡者の内数

	業種・規模	被災者	事故の型	災害状況
1月	鉄鋼業 1,000名以上	技能者 50代 37年	有害物等 との接触	真空脱ガス装置内の耐火れんがを交換後、水分除去のため内部をガスバーナーで加熱中、排気ダクトのマンホールを閉める際、バーナーの排気を吸い込み、一酸化炭素中毒により死亡したものの。
	木造家屋建築 工事業9名以下	大工 30代 1年	墜落・転落	2階建て家屋のリフォーム作業中、墜落制止器具の使用などの墜落防止措置無く、高さ6.7mの屋根上から地面に墜落し死亡したものの。

2020年愛知県における死亡災害発生状況

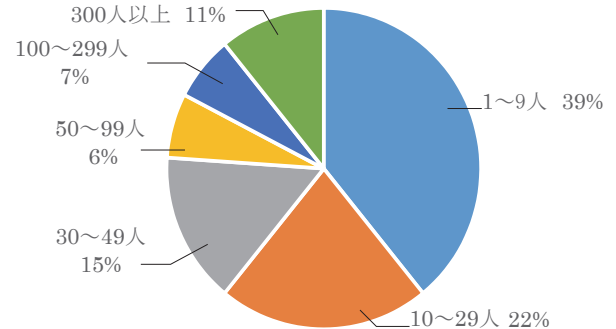
愛知県内の2020年死亡災害は、2019年より増加し46人の尊い命が失われています。
業種・事故の型・事業規模・経験数別での状況

建設・運送業が昨年より減少、その他産業が増加



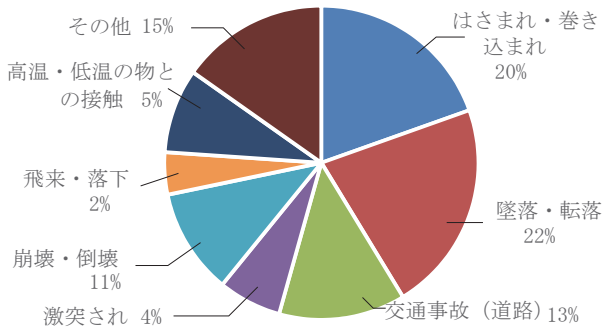
業種別の死亡災害は、その他産業の割合が多く、建設業、製造業の順となっています。昨年と比較し製造業は変わらず、建設、運送業が減少、その他産業における死亡事故が9人（18%）増加しています。

事業規模50人未満の死亡事故が76%を占める



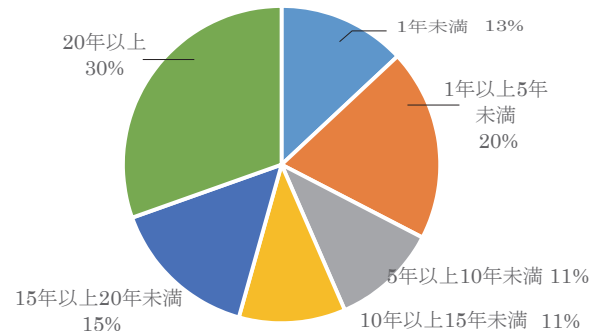
規模別では、企業規模が小さいほど死亡災害の発生が多く、特に安全・衛生管理者等の選任義務のない50人未満の事業場で全体の76%を占めています。

はさまれ・巻き込まれ事故が昨年より減少



はさまれ・巻き込まれ事故は昨年より17%減少、交通事故は8%昨年より減少していますが、墜落・転落事故が22%と最も多い結果となりました。

経験年数10年以上の死亡事故が56%を占める



経験年数別では、経験20年以上の死亡災害が30%と最も多く、10年以上のベテラン労働者で56%を占め、2019年度より5ポイント増加しています。2020年度の傾向は、すべての世代において死亡災害が発生しています。

シリーズ 職場における新型コロナ感染防止対応と対策 ③

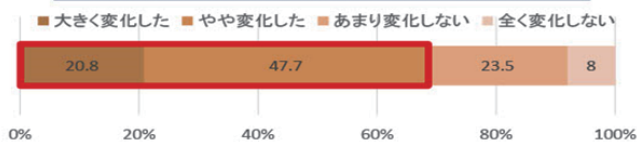
今月は某保険会社が、昨年「With/Afterコロナの健康と保険に関する意識調査」と題し、全国の20代～60代の男女1,000名に対して行なった調査結果から、「労働者の健康に対する意識の変化」について紹介をします。

健康に対する意識も変化

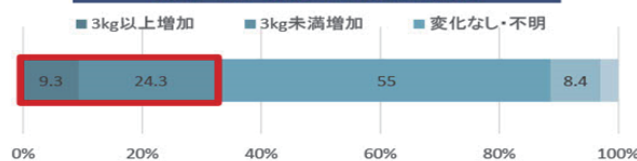
- 新型コロナをきっかけに7割の回答者が「健康意識が変化した」とする調査あり。テレワーク・外出自粛等によって体重変化への意識も高まった。
- テレワークを実施する企業も、従業員の健康管理上の課題を認識。

出典：第26回産業構造審議会総会資料

新型コロナをきっかけに健康意識は変化したか



新型コロナ前後での体重の変化



(出典) SOMPOひまわり生命 健康応援リサーチ「With/Afterコロナの健康と保険に関する意識調査」(n=1000)

テレワークに伴う従業員健康管理上の課題（例）

- テレワーク中の労働安全管理
 - 非対面で、従業員の健康状態や労働時間を管理できる仕組みがない。
- テレワークインフラ
 - 在宅での職務を実施するために必要なインフラを提供できず、不適切な照明や作業姿勢による、眼や身体の疲労が発生。
- 外部環境の影響
 - 職務に集中できる環境を提供できず、育児や介護に伴う集中困難な環境での業務や、不適切な騒音・気温・湿度の中で業務によるストレスが発生。

- 今回の危機により、健康意識にも変化がみられる。企業による健康投資や、公的保険外サービスの拡大を一層後押しすべきではないか。また、テレワークをはじめとして就業環境の変化が起きつつあることを踏まえ、企業の健康投資の見える化、資本市場での適切な評価が行われるための環境整備を進めていくべきではないか。